

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【1】：シビックプライドと未来をつくる力を育む人材育成の充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	子どもから大人までの多様な学びの場が充実していると感じる市民の割合	—	20.3%	18.2%	18.4%	24.3%	市民意識調査
②	住んでいる地域に誇りや愛着を持つ市民の割合	62.2%	63.8%	66.6%	65.8%	67.8%	市民意識調査
②	住んでいる地域に誇りや愛着を持つ中学3年生の割合	—	60.3%	63.8%	55.3%	64.3%	市民意識調査

施策【2】：生きる力を育む幼児教育・学校教育の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合	小学33.5% 中学37.4%	小学34.3% 中学28.6%	小学31.1% 中学26.4%	小学31.7% 中学28.8%	小学55.0%以上 中学50.0%以上	全国学力・学習状況調査
②	「自分には、よいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合	小学39.4% 中学31.8%	小学42.1% 中学27.3%	小学38.1% 中学29.4%	小学43.2% 中学32.6%	小学55.0%以上 中学50.0%以上	全国学力・学習状況調査

施策【3】：多様な学びを支える教育・学習環境の整備

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	18歳以下の子どもを養育している市民の内、学校施設・教育環境が充実していると感じる市民の割合	42.2%	45.4%	40.5%	34.7%	55.0%	市民意識調査
②	学習の中でコンピューター等のICT機器を使い、自分のペースで理解しながら学習を進めている児童生徒の割合	—	—	—	—	小学91.3% 中学76.3%	全国学力・学習状況調査

施策【4】：まちにも活きる生涯学習・スポーツの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	自らの知識や経験を地域社会活動に活かした市民の割合	—	25.8%	26.20%	26.20%	29.80%	市民意識調査

施策【5】：多様性を尊重する人権文化の醸成

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	男女が対等な社会になりつつあると感じる市民の割合	—	27.2%	26.4%	28.3%	50.0%	市民意識調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
- ・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【7】：内発的な経済循環と多様な働き方の創出

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	先端設備等導入計画認定件数	—	15件	9件	19件	25件	経済振興課調査
②	市内事業所への若年者を含む多様な人材の就業者数	—	85人/年	59人/年	50人/年	85人/年	経済振興課調査
③	新規起業件数	14件/年	12件/年	6件/年	11件/年	15件	経済振興課調査商工会調査
③	誘致事業者件数	1件/年	1件/年	0件/年	1件/年	1件/年	経済振興課調査

施策【9】：時代にあわせた農畜産業の振興

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	新規就農者数（累計）	4人	42人	49人	56人	80人	農林振興課調査
③	朝来市全体の農業収入額	11.6億円	10.5億円	10.7億円	10.1億円	12.0億円	朝来市農業推進戦略プラン

施策【10】：自然を守り活かす林業の振興

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	間伐実施面積	180ha	232ha	319ha	332ha	475ha	兵庫県林業統計書
①	木材生産量（素材生産量）	15,789m ³	21,660m ³	23,479m ³	29,431m ³	30,000m ³	兵庫県林業統計書
②	林業労働者数	55人	56人	50人	51人	70人	兵庫県林業統計書

施策【11】：人の営みとともにある自然との共生

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	自然環境保全の取組が進められていると感じる市民の割合	—	35.9%	35.10%	31.70%	39.90%	市民意識調査
②	環境学習に関するイベントに参加したことがある市民の割合	—	5.5%	8.00%	8.10%	9.50%	市民意識調査

施策【12】：地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
③	歴史文化遺産の学びの場への参加者数	17,500人	5,900人	9,427人	9,696人	12,000人	文化財課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【13】：市民力を高める協働のまちづくりの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～②	自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合	—	25.8%	26.20%	26.20%	29.80%	市民意識調査
③	地域おこし協力隊の任期終了後の定住率	83.30%	92.3%	93.70%	93.70%	90.00%	市民意識調査

施策【14】：多様な人がつながる地域コミュニティの充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	1年間に自治会・地域自治協議会・市民サークル・NPO等の活動や行事に参加した市民の割合	68.70%	54.7%	39.5%	41.5%	72.7%	市民意識調査
②	1年間に自治会の地域活動に参加した市民の割合	68.70%	54.7%	39.50%	41.50%	72.70%	市民意識調査
③	1年間に地域自治協議会が行った活動や行事に参加した市民の割合	36.10%	21.6%	27.00%	32.80%	40.10%	市民意識調査

施策【17】：未来につながる多文化共生の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	在住外国人と地域とのつながりが進められていると感じる市民の割合	—	19.1%	15.5%	15.7%	23.1%	市民意識調査
②	国際交流において多様な文化に触れる機会があると感じる市民の割合	—	11.6%	9.0%	10.9%	15.6%	市民意識調査

施策【18】：一人一人が地域とつながる地域共生社会の実現

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	民生委員・児童委員、福祉委員、民生・児童協力委員活動回数	41,234回	36,028回	36,666回	41,118回	41,500回	社会福祉課調査
②	地域で開催する地域課題を共有する場や課題解決する場に民生委員・児童委員が参加した回数	—	—	19回	22回	22回	社会福祉課調査

施策【19】：地域みんなで安心できる子育て環境の充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～②	朝来市で子育てをしたいと思う者の割合	98.0%	97.1%	94.4%	94.7%	96.70%	3か月児、1歳6ヶ月児、3歳児健診対象者アンケート
①	12歳以下の子どもを養育している市民の内、保育サービスや子育て支援が充実していると感じる市民の割合	61.40%	63.6%	55.5%	54.8%	68.1%	市民意識調査
②	妊娠・出産について満足している者の割合	85.30%	84.8%	92.5%	92.2%	92.5%	3か月児健診対象者アンケート

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
- ・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【20】：いつまでも自分らしく活躍できる高齢社会の実現

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	要介護認定（要介護1から要介護5）を受けていない高齢者の割合	85.80%	85.9%	85.7%	85.9%	86.5%	高年福祉課調査
②	高齢者が安全・安心に暮らせていると感じる市民の割合	—	43.8%	42.0%	38.0%	47.0%	市民意識調査

施策【21】：障害のある人の居場所と役割がある自立支援の充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	障害福祉サービス利用申請者数	353人	309人	311人	301人	310人	社会福祉課調査
②	就労継続支援B型や地域活動支援センターを利用した人数	98人	111人	140人	139人	140人	社会福祉課調査

施策【22】：安心できる医療体制の充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	かかりつけ医等身近な医療が充実していると感じる市民の割合	—	52.3%	47.20%	47.60%	56.30%	市民意識調査
①	朝来医療センターの医師数	8名	8名	8名	8名	10名	健幸づくり推進課調査
②	医療電話相談事業（あさご健康医療電話相談ダイヤル24等）を知っている市民の割合	59.30%	63.20%	35.40%	30.90%	66.1%	市民意識調査
③	妊娠・出産について満足している者の割合	85.30%	84.8%	92.5%	92.2%	92.5%	3か月児健診対象者アンケート

施策【23】：こころとからだが幸せになる健幸づくりの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	健康づくりに取組んでいる市民の割合	—	59.9%	57.9%	56.8%	63.9%	市民意識調査
②	地域自治協議会が主体となった健康づくりの実践回数	127回	99回	93回	87回	132回	健幸づくり推進課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【24】：自然を守り暮らしと産業を創造する土地利用の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	市街地と自然環境や農林地が調和した計画的な土地利用が進められていると感じる市民の割合	—	15.8%	13.2%	16.0%	19.8%	市民意識調査
②	良好な住生活環境が整備されていると感じる市民の割合	40.90%	40.1%	28.8%	28.9%	44.1%	市民意識調査
③	地籍調査による調査済面積	211.87km ²	261.11km ²	291.96km ²	305.30km ²	362.99km ²	地籍調査課調査

施策【25】：日頃からみんなで備える災害に強いまちづくりの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	防災・減災対策等、災害に強いまちづくりが進められていると感じる市民の割合	34.0%	31.6%	26.7%	28.2%	35.2%	市民意識調査
②	地区防災計画の策定率	—	34.0%	38.8%	48.8%	90.0%	防災安全課調査

施策【26】：暮らしを守る防犯・交通安全の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	刑法犯認知件数（南但馬警察署管内・4年間平均）	184件 (H26～H29平均)	148件 (H29～R2平均)	141件	129件	148件以下 (R8～R11平均)	防災安全課調査

施策【30】：暮らしを豊かにする公共交通の確保

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	路線バス、アコバス、あさGOの乗車人数（年間）	204,502人	228,212人	211,598人	210,035人	228,000人	都市政策課調査
②	鉄道乗車人員（年間）	523,410人	496,035人	385,805人	403,690人	496,000人	都市政策課調査
③	但馬空港搭乗者数	1,383人	660人	562人	696人	860人	都市政策課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化(2)を図る。

施策【31】：対話による開かれた広聴の充実

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	市民と行政の対話の場への参加者数	656人	271人	699人	1,330人	650人	秘書広報課調査
②～③	市民の意見が、市政に反映されていると感じる市民の割合	—	14.9%	12.0%	12.4%	18.9%	市民意識調査
③	市の情報公開により市政の透明性が図られていると感じる市民の割合	—	23.6%	24.5%	22.7%	27.6%	市民意識調査

施策【32】：伝えたいところに届く戦略的な情報発信の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～②	市の情報発信が分かりやすく、充実していると感じる市民の割合	—	27.5%	29.40%	28.00%	31.50%	市民意識調査
③	ケーブルテレビ新規加入件数（休止の再加入件数を含む）	—	271件/年	211件/年	121件/年	150件/年	ケーブルテレビセンター調査

施策【33】：効果的かつ効率的な行財政運営の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～④	経常収支比率	88.80%	89.9%	85.60%	89.00%	90.0%未満	財務課調査
	実質公債費比率	10.00%	10.8%	11.60%	11.30%	18.0%未満	財務課調査
	将来負担比率	33.80%	—	—	—	350.0%未満	財務課調査

施策【34】：市民とともにある職員の育成・組織力の強化

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	職員数	324人	334人	326人	324人	335人 (令和10年度)	総務課調査
	時間外勤務の総時間数削減（特例業務除く）	—	28,130時間	35,355時間	32,132時間	30,000時間	総務課調査
	男性職員の育児休業取得率	0.00%	20.0%	75.0%	44.0%	50.0%	総務課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

- ・ 多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。
- ・ 構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。

施策【7】：内発的な経済循環と多様な働き方の創出

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	先端設備等導入計画認定件数	—	15件	9件	19件	25件	経済振興課調査

施策【8】：まちの力になる観光の振興

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～③	観光入込客数（年間）	2,353千人	1,451千人	1,881千人	1,897千人	2,632千人	観光交流課調査
①～③	観光消費額（1人当たり） 市内宿泊あり	14,117円	28,125円	16,900円	21,026円	17,371円	観光交流課調査
①～③	観光消費額（1人当たり） 市内宿泊なし	2,590円	2,657円	4,850円	4,385円	2,943円	観光交流課調査

施策【10】：自然を守り活かす林業の振興

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	林業労働者数	55人	56人	50人	51人	70人	兵庫県林業統計書

施策【11】：人の営みとともにある自然との共生

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	環境学習に関するイベントに参加したことがある市民の割合	—	5.5%	8.00%	8.10%	9.50%	市民意識調査

施策【12】：地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	歴史文化遺産への観光入込客数	515,800人	302,500人	384,024人	427,875人	526,200人	文化財課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

- ・ 多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。
- ・ 構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。

施策【13】：市民力を高める協働のまちづくりの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
③	地域おこし協力隊の任期終了後の定住率	83.30%	92.3%	93.70%	93.70%	90.00%	市民意識調査

施策【29】：地球に優しいエネルギーと資源の循環の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
③	省エネ等の環境にやさしいまちづくりが進められていると感じる市民の割合	15.50%	12.5%	15.8%	18.2%	16.5%	市民意識調査

施策【35】：広域行政組織等団体との連携の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②～④	朝来市は多様な主体との連携が進んでいると感じる市民の割合	—	10.7%	9.7%	10.0%	14.7%	市民意識調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(3) 人や企業の地方分散～産学官の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- ・過度な東京一極集中の課題（地方は過疎、東京は過密）に対応した人や企業の地方分散
- ・政府関係機関の地方移転を図る。に取り組むとともに、関係人口を活かして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れ(4)新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用を創出する。

施策【15】：まちの仲間になる移住定住の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	朝来市の移住支援制度を利用して転入した人数 (4年度間平均)	109人 (H26～H29平均)	128人 (H29～R2平均)	116.5人	112.3人	128人 (R8～R11平均)	市民協働課調査
②	年間婚姻数（4年間平均）	136組 (H26～H29平均)	134組 (H28～R1平均)	109.5組	92.3組	135組 (R8～R11平均)	人口動態調査

施策【16】：まちを応援する関係人口の創出

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	関係人口を交えた活動が行われていると感じる市民の割合	－	24.7%	19.7%	21.9%	28.7%	市民意識調査
②	関係自治体等との国内交流が推進されていると感じる市民の割合	－	20.9%	19.10%	21.10%	24.90%	市民意識調査

施策【27】：生活基盤の持続可能な維持管理・確保

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	市営住宅改善戸数（累計）	37戸	108戸	159戸	159戸	216戸	都市政策課調査
②	定住促進住宅入居率	30.0%	70.0%	67.0%	52.0%	75.0%	都市政策課調査

地方創生2.0 政策の5本柱

(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

・GX・DXを活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携などによる新時代のインフラ整備を面的に展開していく。
・AI・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会(5)広域リージョン連携・都道府県域や市町村域を超えて施策を面的に展開を実現する。

施策【3】：多様な学びを支える教育・学習環境の整備

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	18歳以下の子どもを養育している市民の内、学校施設・教育環境が充実していると感じる市民の割合	42.2%	45.4%	40.5%	34.7%	55.0%	市民意識調査

施策【7】：内発的な経済循環と多様な働き方の創出

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
③	新規起業件数	14件/年	12件/年	6件/年	11件/年	15件	経済振興課調査商工会調査
③	誘致事業者件数	1件/年	1件/年	0件/年	1件/年	1件/年	経済振興課調査

施策【23】：こころとからだが幸せになる健幸づくりの推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②	地域自治協議会が主体となった健康づくりの実践回数	127回	99回	93回	87回	132回	健幸づくり推進課調査

施策【27】：生活基盤の持続可能な維持管理・確保

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	早期に修繕措置が必要な橋りょう数	71橋	38橋	9橋	10橋	25橋以下	来市道路橋長寿命化修繕計

施策【28】：暮らしを支える上下水道の維持管理・運営

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	経常収支比率（水道事業） （（経常収益/経常費用）×100）	112.00%	109.5%	111.20%	113.70%	110.00%	上下水道課調査
②	経常収支比率（下水道事業） （（経常収益/経常費用）×100）	—	120.9%	119.7%	119.8%	110.0%	上下水道課調査

施策【33】：効果的かつ効率的な行財政運営の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～④	経常収支比率	88.80%	89.9%	85.60%	89.00%	90.0%未満	財務課調査
	実質公債費比率	10.00%	10.8%	11.60%	11.30%	18.0%未満	財務課調査
	将来負担比率	33.80%	—	—	—	350.0%未満	財務課調査

地方創生2.0 政策の5本柱
(5) 広域リージョン連携

・ 都道府県域や市町村域を超えて施策を面的に展開を実現する。、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながるする。

施策【8】：まちの力になる観光の振興

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～③	観光入込客数（年間）	2,353千人	1,451千人	1,881千人	1,897千人	2,632千人	観光交流課調査
①～③	観光消費額（1人当たり） 市内宿泊あり	14,117円	28,125円	16,900円	21,026円	17,371円	観光交流課調査
①～③	観光消費額（1人当たり） 市内宿泊なし	2,590円	2,657円	4,850円	4,385円	2,943円	観光交流課調査

施策【27】：生活基盤の持続可能な維持管理・確保

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	早期に修繕措置が必要な橋りょう数	71橋	38橋	9橋	10橋	25橋以下	朝来市道路橋長寿命化修繕計画

施策【28】：暮らしを支える上下水道の維持管理・運営

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①	経常収支比率（水道事業） （（経常収益/経常費用）×100）	112.00%	109.5%	111.20%	113.70%	110.00%	上下水道課調査
②	経常収支比率（下水道事業） （（経常収益/経常費用）×100）	—	120.9%	119.7%	119.8%	110.0%	上下水道課調査

施策【33】：効果的かつ効率的な行財政運営の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
①～④	経常収支比率	88.80%	89.9%	85.60%	89.00%	90.0%未満	財務課調査
	実質公債費比率	10.00%	10.8%	11.60%	11.30%	18.0%未満	財務課調査
	将来負担比率	33.80%	—	—	—	350.0%未満	財務課調査

施策【35】：広域行政組織等団体との連携の推進

施策指標							
指標		H29	策定時	R4	R5	目標値 (R11)	出典
②～④	朝来市は多様な主体との連携が進んでいると感じる市民の割合	—	10.7%	9.7%	10.0%	14.7%	市民意識調査